



1秒争う救急車 あなたも1秒考えて ～救急車の適正利用にご協力を～

消防だより

有田川町消防本部
吉備金屋消防署
清水消防署
52-5950
52-5950
25-1243

今年の出動等(累計)

火災………12件
救助………858件
(平成25年8月31日現在)

つけて良かった 住宅用火災警報器(住警器)

あなたは、火災の怖さを真剣に考えてみたことがありますか？ 住警器は、火災の未然防止や早期発見、早期避難に非常に効果的です。火災予防条例で寝室や階段への住警器設置が義務付けられており、今回は住警器の設置により、大事に至らなかった事例をいくつか紹介します。

【事例1】

天ぷら油の入った鍋で揚げ物をするためにガスコンロに点火した後、かかってきた電話に夢中。住警器の音に気づき、慌てて戻ると天ぷら鍋から出火。消火器で消火した。



【事例2】

灰皿にたまった吸殻をゴミ箱に捨てる際、完全に消えているか確認を怠ったため、ゴミ箱内の紙くずに火が着火。住警器の音に気づき、水道水

で消火した。

【事例3】

寝たばこをして就寝中のところ、住警器の音で目が覚め、ふとんから煙が出ていることに気づきあわてて風呂場へ持つて行き、浴槽の水に浸した。



☆火災から大切な家族と自分自身の命、財産を守るため、まだ住宅用火災警報器を設置されていないお宅は、早急に設置しましょう。

たき火に注意 火災多発！

たき火などによる火災が大変多く発生しています。風の強い日や空気が乾燥した日に空地でゴミを焚き、火の粉が飛んで燃え広がったり、消火が不十分であったり、原因は様々です。「ちょっとした注意不足」から大きな被害に及ぶこともあります。火の取り扱いには十分注意してください。

骨折時の応急手当

骨折は気付かずに放置しておく、悪化させたり治るのを遅らせてしまうことになります。

捻挫だと思っていたら骨折していた！ということも多く見られ、特に子供さんや高齢者の方には注意が必要です。

○骨折の確認

転倒などで手足が変形していたり、大きく腫れている、または動かしたり触れたりすると激しい痛みがある場合、骨折が強く疑われます。



骨折が疑われた場合、無理に動かそうとしないようにしましょう。無理に動かした場合、骨折した骨が神経、血管を傷つける恐れがあります。また骨折した骨の一部が皮膚を破って外に出ている場合も、感染の危険性があるので元に戻そうとしてはいけません。医師の診察を受けるまで、そのままの状態で安静を保ちましょう。

○応急手当(固定)

そえ木等をあてて骨折部位が動かないように固定します。そえ木は骨

折部の上下の関節を固定できる長さがが必要です。身近にあるダンボール、雑誌、木の枝、傘、バット等が利用できます。



疑わしい時は、骨折したものととして対処します。移動しようとする場合は、固定することで痛みを和らげることが出来ます。

○注意点

高齢者の方は骨が弱っていることも多く、転倒やちよつと手をついただけで骨折するケースも少なくありません。ご家庭でも、できるだけ転倒しないような工夫や予防に心掛けましょう。

あなたの命と財産を守るため 付いていますか？ 住宅用火災警報器
「法律で全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。」

